

都道府県高等学校野球連盟 会長 殿
加 盟 校 学 校 長 殿
同 野 球 部 責 任 教 師 殿

財団法人 日本高等学校野球連盟
会 長 脇 村 春 夫

中学生の練習参加に対する安全対策について

日本高等学校野球連盟では、平成14年3月の全国理事会で、「中高一貫の中等教育学校で、中学校大会終了後、いわゆる中学3年生が、高校の部で当該校の校長の承認があれば練習に参加することができる」としました。

今回、大阪府PL学園高校で、この緩和措置により参加した同校中学部3年生の野球部員が、初めて参加した高等部の練習中、2塁手の守備に入っていたところ、3塁手から転送されたノックのボール回しの球を胸に受け死亡する事故が発生しました。

事故後、現場で指導に当たっていた指導者らで、心臓マッサージなどの救急救命措置などがとられましたが、搬送先の病院でおよそ7時間後死亡しました。

硬式野球は常に危険がつきまとう競技ではありますが、今回の事故を教訓として以下の安全対策について、加盟各校の留意をお願いいたします。

記

1) 自動体外式除細動器(AED)を使った救急処置講習会受講のお願い

平成17年8月にも全国の加盟校と連盟役員に救急処置講習会の受講を要請しましたが、改めて野球部指導者の自動体外式除細動器(AED)を使った救急処置講習会受講をお願いします。また、すでに受講された方についても、適宜反復訓練をされるようお願いいたします。

2) 自動体外式除細動器(AED)設置場所の確認

胸部を打撲したときに起きる心臓震とうでは、自動体外式除細動器(AED)の使用が救命率を高めるとされています。現在すべての学校、施設での設置が実現されていませんが、野球部の活動をされる場合、身近な場所に設置されているかどうか、常に確認するよう習慣付けてください。

3) 胸部保護パットの活用

胸部の打撲に有効な胸部保護パットの開発が、スポーツメーカーの間で実現、すでに市販されています。中学生が高校の硬式野球の練習に参加する場合、胸部保護パットの積極的な着用を奨励します。

以 上